

NEWS

ソニーより「PSX」にGガイドが搭載され、
12月13日いよいよ発売!

ソニーマーケティングは、12月13日(土)より大容量ハードディスク搭載DVDレコーダー「PSX」の発売を開始します。PSXは、ハードディスクレコーダー、DVDレコーダー、ミュージックボックス、デジタルフォトアルバム、そしてゲームと、リビングで楽しむメディアを1台に凝縮した次世代のデジタルメディアプレーヤーです。

今回の発売機種は、ハードディスク搭載DVDレコーダー

「DESR-7000(250GB)」と、「DESR-5000(160GB)」で、見たいテレビ番組は、Gガイド(電子番組表)を使って簡単・快適に録画予約することが可能です。(ハードディスクの最大録画可能時間は、それぞれ、325時間*1と204時間*1。)また、テレビチューナーにゴーストリダクション回路を搭載して、映像がダブって見えるゴースト現象を抑え、テレビ映像をスッキリした高画質で楽しむことができます。さらにPSXは、ネットワーク経由でさまざまな機能を追加、更新することができます。

*1 ゲーム領域をOGBで選択時



DESR-7000 (250GB)



DESR-5000 (160GB)

<GUI メニュー画面>



<Gガイド画面>

PSXの
注目機能

テレビの録画だけでなく、音楽・静止画・ゲームを融合

DVD-R、DVD-RWに対応。
D2端子&光デジタルアウトで
ホームシアターにも!



ビデオ生活

サイバーショットの
静止画を取り込んで
高画質で大画面で楽しむ。



写真生活



テレビ生活

地上アナログ、BSアナログ対応
ゴーストリダクションチューナーで
高画質!



音楽生活

CDを聴いたり、
ハードディスクに取り込めば
大容量ミュージックジュークボックス
としても楽しめます。



ゲーム生活

"プレイステーション"
"プレイステーション2" 規格の
ソフトにも対応!

■ 商品についてのURL <http://www.sony.co.jp/PSX/>
<http://www.sony.jp/CorporateCruise/Press/200311/03-1127/>
<http://www.sony.jp/CorporateCruise/Press/200310/03-1007/>

※画面は最終とは異なる場合があります。 ※製品情報についてはソニーのリリースに基づいており、機能等詳細はソニーホームページ等で確認ください。

■ 信濃毎日新聞社 インタビュー

信濃毎日新聞の東京支社長にインタビューしました。

■ Gガイドをご覧になったときの印象を教えてください。

Gガイドは、3年前に1度お話を伺っていますが、その時はアメリカの受信機を見せてもらって、やがては日本でもこのようなサービスができるのだと知りました。先日、3年ぶりに改めて話を聞き、日本版のGガイド対応テレビを見せてもらって格段に成長していたこと、テレビの中に番組表があって、実際すでに一般販売されていて、値段も手ごろで手の届くところまで来ているという進歩の早さにとても驚きました。しかも、新聞のラテ欄形式や、縦に放送局、横に時間表示がされるグリッド形式など表示方法もいろいろあり、ユーザーにとっても使い勝手のいい機能がついていましたからね。

■ Gガイドを媒体としてどのように思われますか。

正直言って、新聞にとってのラテ欄は、読者が一番よく見るということを踏まえて、Gガイドのようなものが出てきたことで、(まだすぐというわけではないですが、)今後新聞のラテ欄が必要ではなくなってしまう日がくるかもしれない、という漠然とした脅威を感じました。もちろん新聞のラテ欄は、テレビ上のラテ欄(EPG)とは違った良さもたくさんあります。例えば、全ての番組が一覧できるという点では見易いですし、さらに好きなところに折りたたんで持っていけるという使い勝手の良さや機能性(手軽さ)があります。ただ、録画予約という点で、これまでは新聞を見てGコードの数字を打ち込む作業だったのが、今後はGガイドを使ってワンタッチでとても簡単に録画予約が行えるので、この便利さは新聞のラテ欄にとって脅威と言えるかもしれません。

■ 今後、新聞とGガイドとが共同でやっていける展開があるとお考えですか。

私は35年間、新聞記者をやってきたので、ビジネスに結びつけてものを考えるという点では少し感覚は鈍いかもしれませんが(笑)、Gガイドは新聞社にとって新たな経営展開を考えていく良いきっかけになるかもしれません。新しい媒体への取り組みとしては、50年前にテレビが出てきたときに、今日のような影響力のあるものになるとの認識がなく、対応が遅れたという話を聞いたことがあります。今回、Gガイドのお話を伺うに至ったのも、Gガイドが新しい媒体として急成長する可能性があるのでは、どのように対応していくべきかをちゃんと考えるために、しっかり話を聞いてみようということからです。実に3年で、Gガイドは広告も含め媒体として成長している。では、実際にGガイドを新聞ビジネスでどうやって利用していくのか? 地方新聞としては、その地域に密着した情報を持っているという強さを利用して、Gガイドと共同で地域情報を発信していくような展開はありますよね。また、地方では最初に購入した新聞を読者はずっと続けていくという傾向がありますので、Gガイドで広告の地域差し換えが可能ならば、Gガイド広告を使って新聞の販売促進を行うことは重要なポイントかもしれないですね。まあ、Gガイドが今後どう進化していくのか、現時点ではわからないので、Gガイド(IPG)から新聞社との新しい共同企画をどんどん提案して欲しいと期待しています。



信濃毎日新聞社 取締役
東京支社長 恒川 昌久 さん

ちょっとした機能紹介

ダイジェストモード

Gガイドパネル広告は、30秒ごとに自動的に切り替わるように設定されていますが、ユーザー操作によって見たい広告を選んで見ることもできます。例えば、番組表の確認中に気になる映画の広告が表示された場合、すぐにカーソル移動しなくても番組情報の確認を終えてから先ほど気になった映画の広告を画面上に呼び出して、公開日やストーリーなどを確認することができます。Gガイドパネル広告にカーソルを合わせると、番組表があったエリアにその広告の詳細情報が表示され、リモコンの上下キーを使って、好きなタイミングで広告を切り替えることができます。この機能を「ダイジェストモード」といいます。また、パネル広告にカーソルを合わせた状態でリモコン操作を行わなければ、広告は切り替わらないので、ユーザーは広告の詳細内容を自分のペースでじっくり閲覧することができます。



*Gガイド画面はイメージです。実際の掲出期間・画面表示と異なる場合がございます。

■ GemstarとTWCが長期ライセンス契約の締結を発表!

2003年10月7日、GemstarがTime Warner Cable (TWC)との長期ライセンス契約締結を発表しました。この契約により、TWCは、双方向番組ガイド(IPG)におけるGemstarの知的財産や技術、またTVガイドのブランドおよびコンテンツの利用が可能となります。GemstarとTWCの2社が提携することで、最新鋭のテレビガイドサービスおよびエンタテインメント・ソリューションをTWCの顧客に提供するための強力な礎を築くことになります。また、GemstarとTWCは、IPGのメディア力を活かしたIPG広告の開発および広告機能拡張を探求することでも協力していきます。

■ GemstarとDIRECTVがIPGライセンスおよび配信契約を締結!

2003年12月2日、Gemstarは、1,200万人の顧客をもつ、DIRECTVとのIPGライセンス契約の締結を発表しました。この契約により、DIRECTVは、2004年1月より、Gemstarの知的財産および技術、TVガイドブランドを利用することが可能となります。また、DIRECTVは、TVガイド・チャンネルの配信契約も締結しており、2004年の第1四半期よりTVガイド・チャンネルの配信を開始します。